

プランクトン検鏡結果のお知らせ

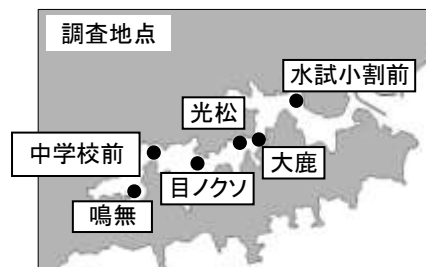
本日午前、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、前報、前々報で優占種だった無害種のプロロセントラム・ミニマムは激減していました。
魚類に対して有害なシャットネラ属が最高で1,000cells/ml、カレニア・ミキモトイが最高で15cells/ml確認されました。
シャットネラ属は水試小割前以外の観測点で漁業被害が想定される細胞密度を超えています。
慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン (cells/ml)

		シャットネラ属	カレニア・ミキモトイ	プロロセントラム・ミニマム	ジャイロディニウム属	珪藻類
中学校前	0m	0	0	0	1,700	1,050
	2m	1,000	1	0	2,600	250
	透明度:2.0m 5m	20	2	0	125	170
目ノクソ	0m	0	0	0	2,300	850
	2m	38	0	0	1,450	1,100
	透明度:3.0m 5m	5	6	1	100	250
光松	0m	1	0	0	1,200	850
	2m	220	0	0	1,800	1,550
	透明度:2.5m 5m	8	2	0	110	450
大鹿	0m	0	0	0	3,000	1,150
	2m	490	0	0	1,200	1,750
	透明度:2.5m 5m	17	2	0	60	100
水試小割前	0m	0	0	0	1,200	300
	2m	0	0	50	1,050	1,100
	透明度:2.5m 5m	3	0	10	20	160
鳴無	0m	0	0	0	2,900	
	2m	181	15	0	4,300	
	透明度:2.0m 5m	80	2	0	170	



漁業被害が想定される細胞密度

- ・シャットネラ属:
10~100cells/ml(魚類のへい死)
- ・カレニア・ミキモトイ:
数百~数千cells/ml(魚類等のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>